

## 小矢部の獅子舞

「メルヘンの街・おやべ」には、貴重な民俗芸能である獅子舞が多く、市内84ヵ所に、今も保存、伝承されている。小矢部市の獅子は「百足獅子」である。大きくて重い獅子頭、弓形の竹を張った長い胴幕(かや)、それは百足のような形をした勇壮な獅子である。

この獅子舞の起源は伝承によると天正年間、今石動城主前田利秀公入城の際に、土地の人が獅子舞をして歓迎したことに始まると謂われている。以来、観音寺・天神祭に奉納する旧石動町の天神獅子(獅子舞盆・5月第4土・日、32町32組)をはじめ、市内各地には、江戸末期から明治中期にかけて急速に普及した。

獅子舞の演目や、獅子のあやしの所作、そしてその採り物等から、氷見獅子、砺波獅子の影響を受けたタイプに分類でき、地区の春秋の祭礼に奉納され継承されている。(13地区52ヵ所)

## 獅子舞の形態

獅子はいわゆる「百足獅子」で胴幕(かや)の中に頭・尾を含めて5~6人が入る。2種類の形があり、大きな胴幕に竹の輪を入れてさらに大きく見せ、棒やなぎなたを持ったかわいい踊り子を相手に、やや緩いリズムとともにゆさゆさと重厚に舞う砺波獅子の流れをくむもの。胴には竹の輪を入れず、手を挙げて張る。笛のテンポは早く、天狗が棒やなぎなた術を持って獅子と闘う、激しく勇壮に踊る氷見獅子の影響を受けたものに分けられる。また、2人立ち獅子を含めた親子獅子などもある。



### 小矢部市獅子舞連合会・小矢部市観光協会

〒932-8611 富山県小矢部市本町1-1(小矢部市役所内)  
TEL0766-67-1760/0766-30-2266 FAX0766-67-1567

小矢部市獅子舞連合会ホームページ  
<http://www.meltama.jp/dantai/sisi/index.html>



# 小矢部市の獅子舞

華麗に舞い踊る...





# 守りたい、残したい、伝えたい、 小矢部の獅子舞

「神社に、街並みの中に……。」

かわいい踊り子を先頭に姿を現す小矢部の獅子舞。

囃子の太鼓や笛の音が流れてくると胸が躍り、

魂までもゆさぶられる。

獅子は悪しき魂をしずめる聖なる力を持った聖獣であり、

「五穀豊穰」や「家内安全」「健康」祈願を託す神獣でもある。

私たちのふる里にしっかりと根付いてきたこの祭りが、

現代にまで連綿と引き継がれてきた基は、

衰えることのない民衆の情熱とたゆまぬ努力の結晶である。

洗練された文化と伝統を築き上げてきたこの精神を、

見事に仕上げてきた先人の知恵と力を、

次の世代へ正しく引き継ぐことが今、求められている。

